



## (仮称)せたがやグリーンインフラガイドライン〈案〉

### 【アンケート調査の結果】

令和 6 年 2 月

世 田 谷 区

## 1. 方法

(1)調査対象：区民

(2)対象数：20歳～59歳（1,511）、60歳～79歳（489）の合計2,000

(3)調査方法：配布(郵送)・回収（原則WEB、60歳以上はWEB及びハガキ回答の併用）

(4)調査期間：令和5年11月14日発送(15日着)～29日〆切

(5)有効回答数：278（WEB回答：163件、ハガキでの回答：115件）

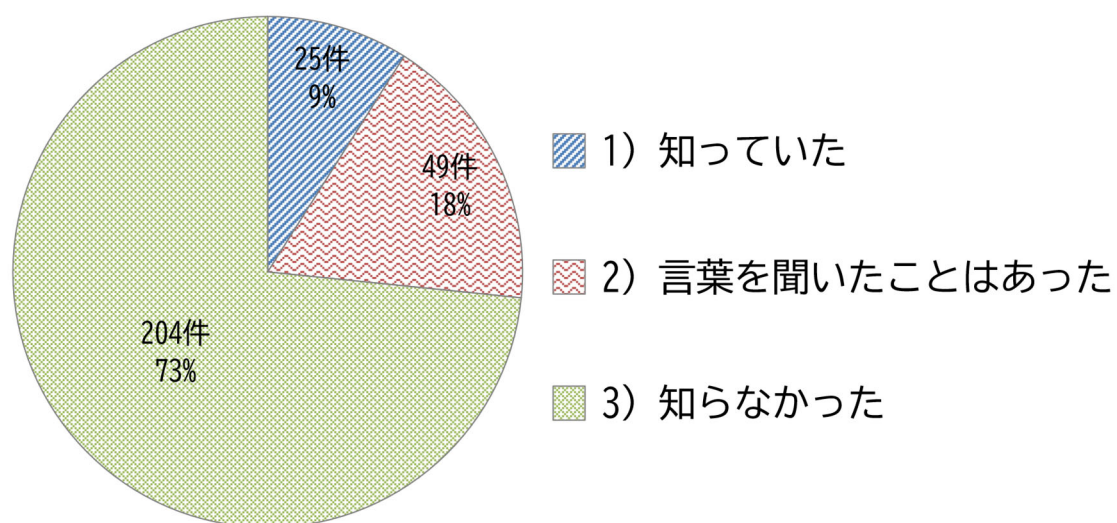
※回答率：13.9%

## 2. 結果

以下に、得られた回答の単純集計結果を示します。

問1 「グリーンインフラ」を知っていましたか。（答えは1つ）

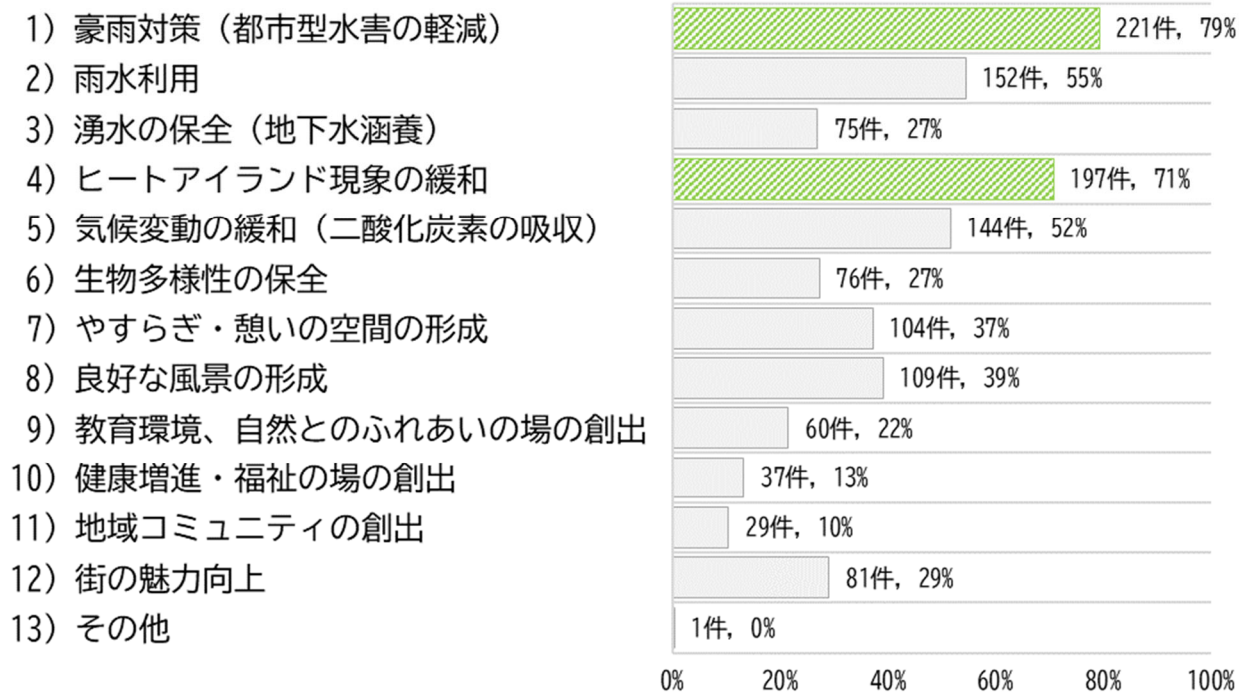
グリーンインフラを「知っていた」人が 9%、「言葉を聞いたことはあった」人が 18%、「知らなかった」人が 73%であり、グリーンインフラを内容まで知っていた人は 1割に満たないことがわかりました。



問 2 あなたが「グリーンインフラ」に期待するもの（メリット）は何ですか。（いくつでも）

グリーンインフラに期待するもの（メリット）については、1位が「豪雨対策（都市型水害の軽減）」、2位が「ヒートアイランド現象の緩和」でした。

グリーンインフラが「豪雨対策（都市型水害の軽減）」や「ヒートアイランド現象の緩和」に有効であることを認識していることがうかがえます。

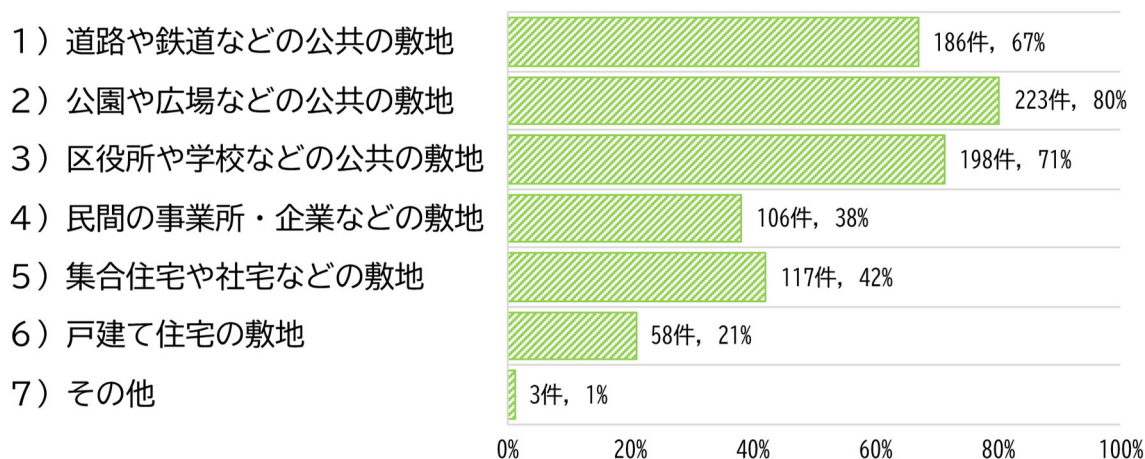


問 3 あなたは、次の「ア)～キ)」に示す「グリーンインフラ」の主なメニューについて、それぞれどのような場所で行うことが望ましいと思いますか。答えは選択肢の中から選んでください。（いくつでも）

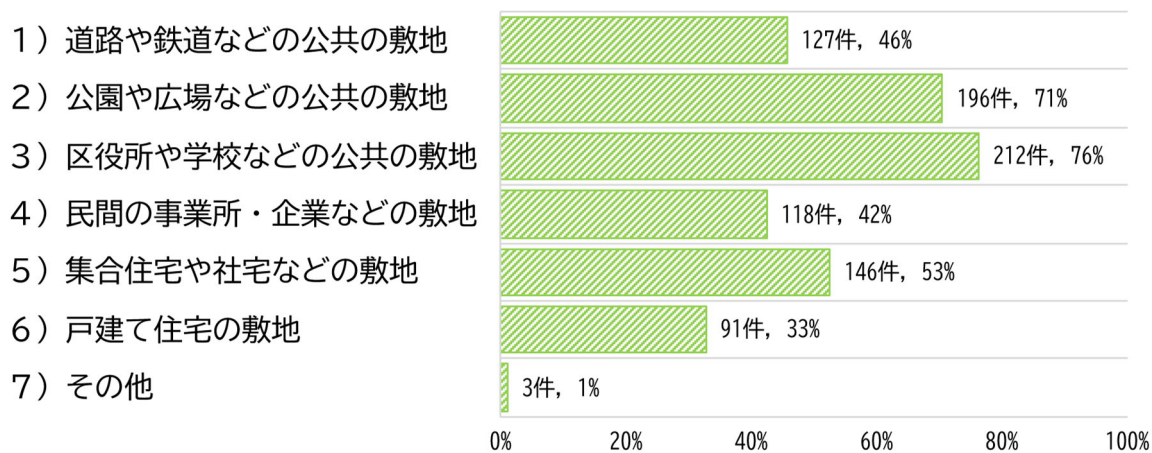
今回提示したグリーンインフラの主なメニューについて、どのような場所で行うことが望ましいかを質問したものです。

「雨水浸透施設（雨水浸透ます・浸透トレンチ）」、「透水性舗装」のように、『豪雨対策（都市型水害の軽減）』や『湧水<sup>かんよう</sup>の保全（地下水涵養）』に効果が限定される施設については、公共の場所での導入を望む回答が多く、「雨水タンク」、「生垣などの植栽」、「壁面緑化・屋上緑化」、「雨庭」、「花壇、プランター」のように、雨水の利用や植物要素が加わる施設については、民間の敷地での導入を望む回答も増加する結果となっています。

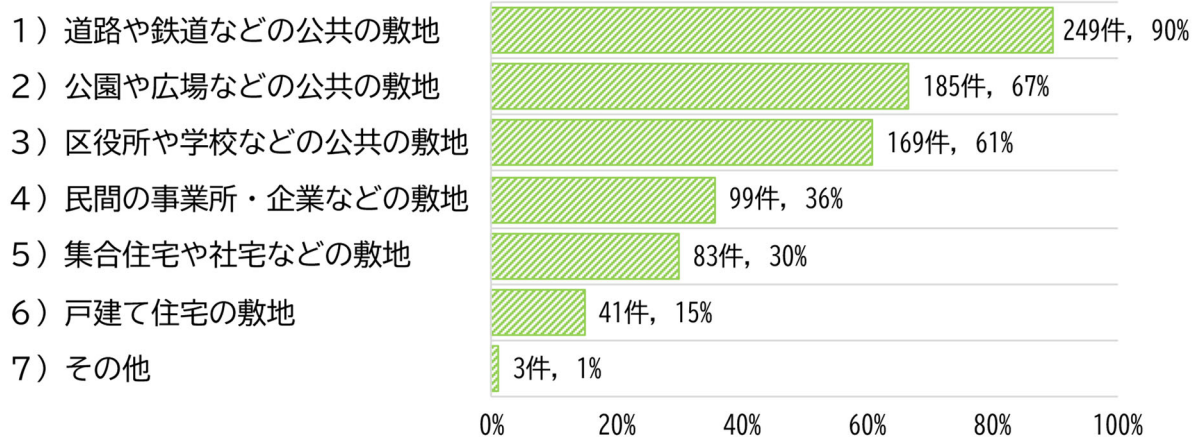
#### ア) 雨水浸透施設（雨水浸透ます・トレンチ）



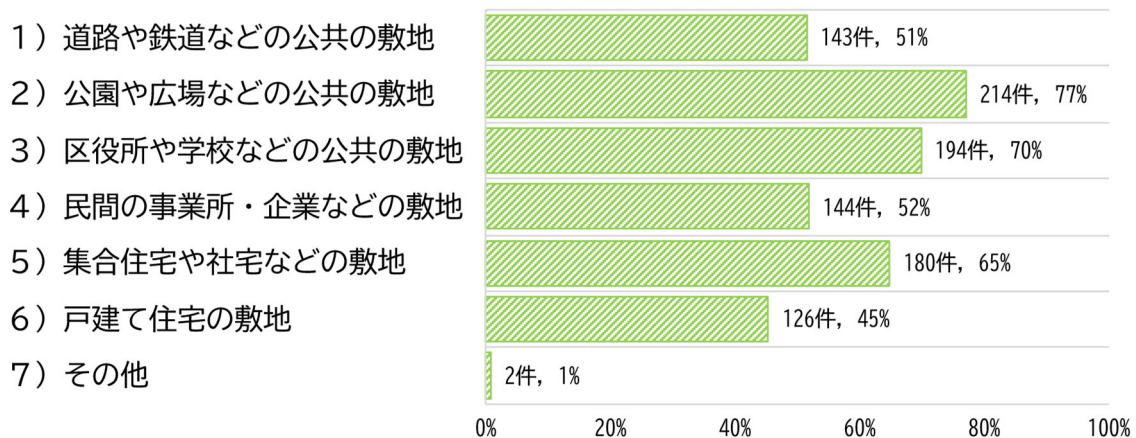
#### イ) 雨水タンク



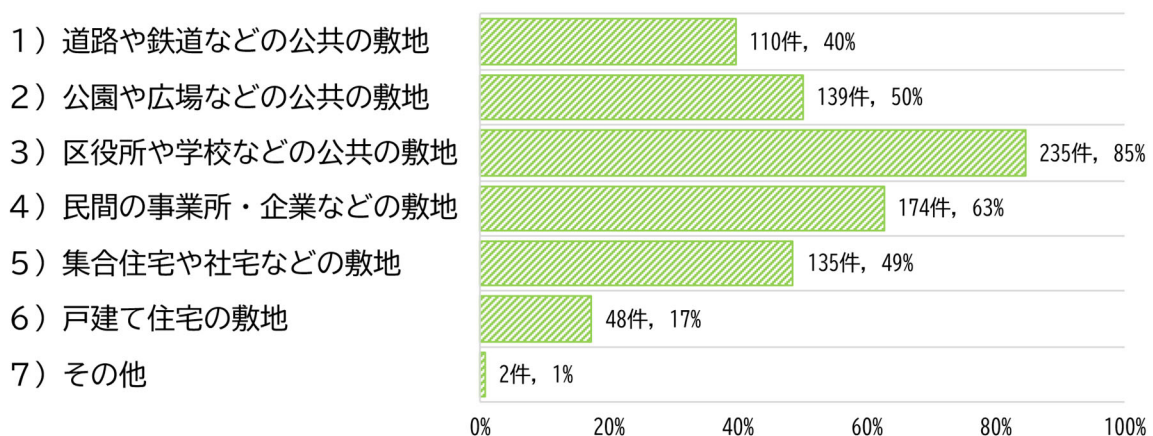
## ウ) 透水性舗装



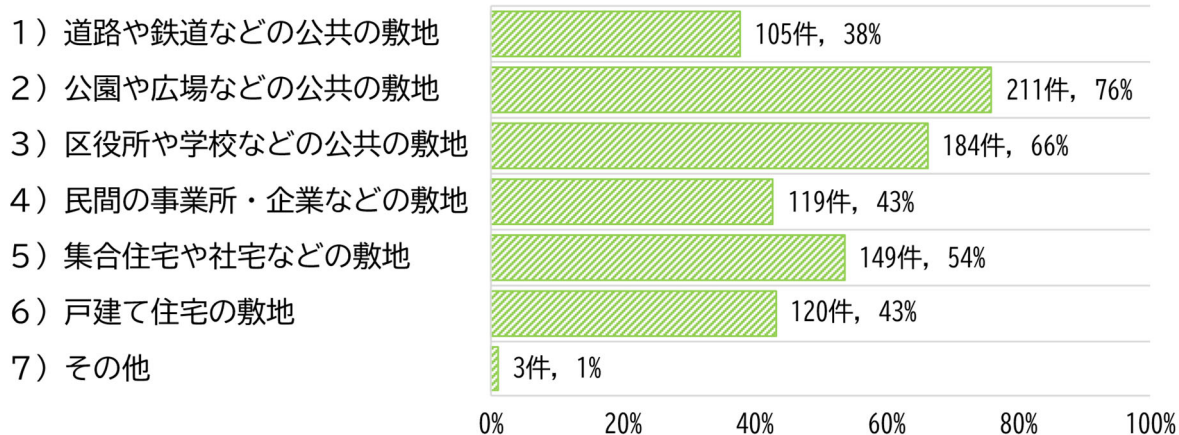
## エ) 生垣などの植栽



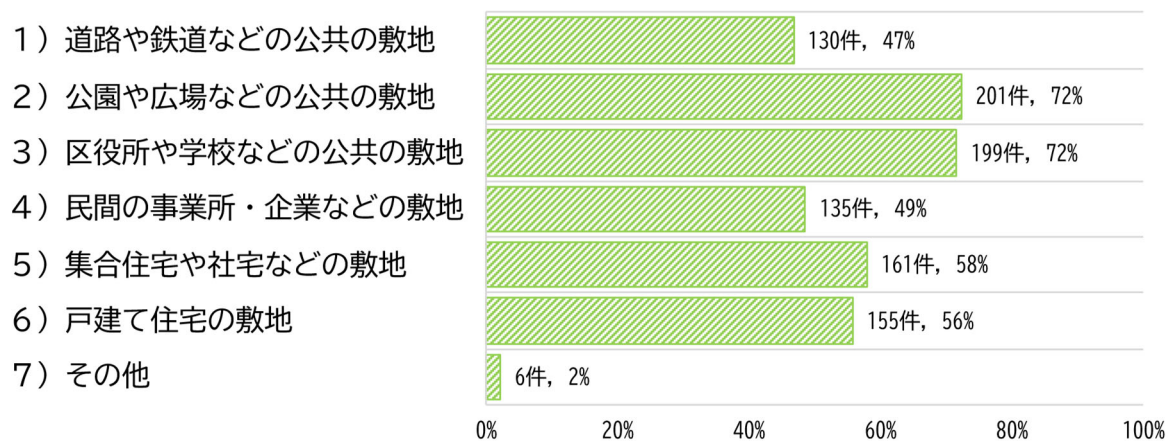
## オ) 壁面緑化・屋上緑化



## カ) 雨庭（浸透性を高めた庭）

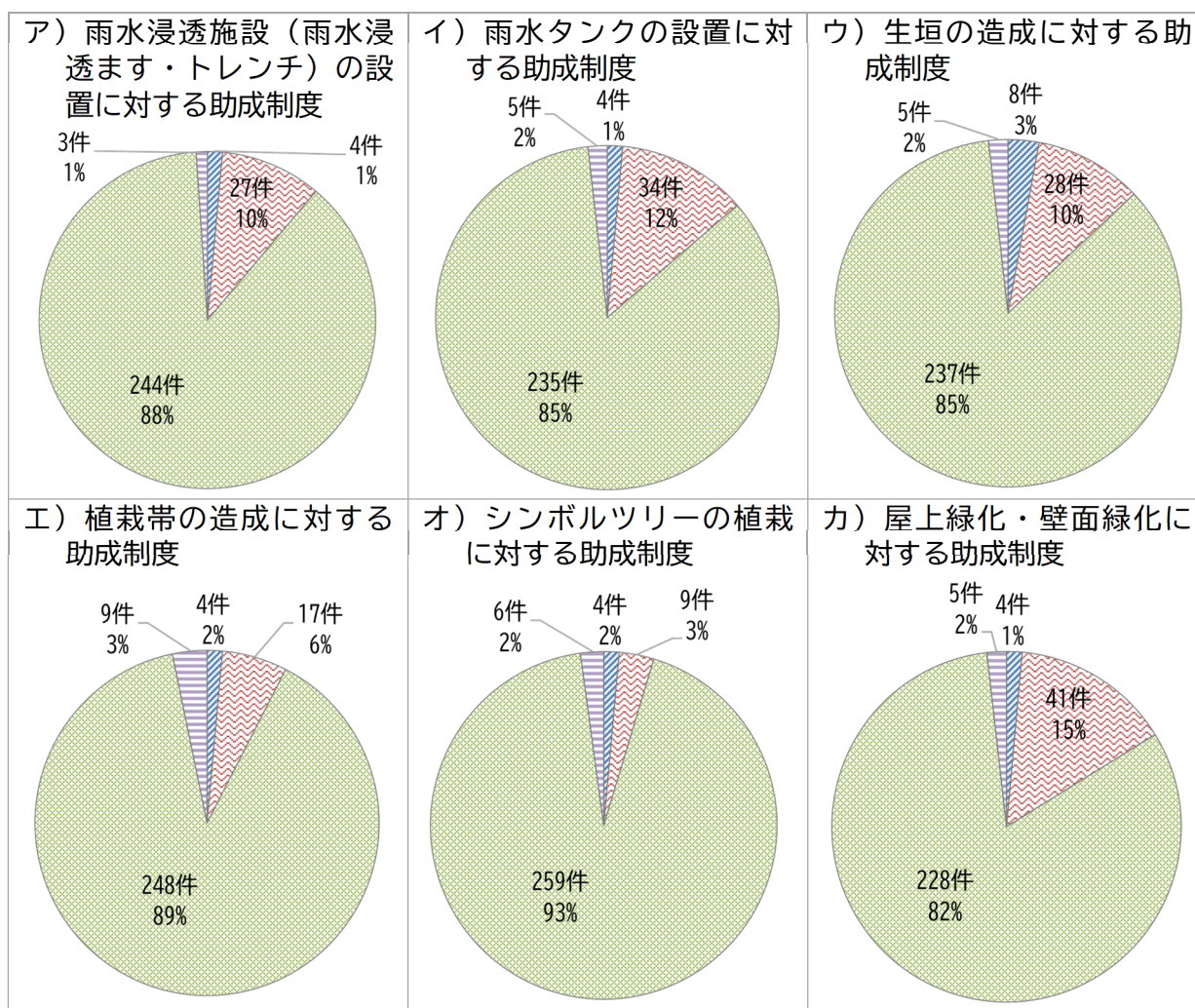


## キ) 花壇、プランター



問 4 区では、区民のみなさんが「グリーンインフラ」の取組みを行う際に利用することができる各種の「助成制度」を用意しています。次の「ア）～カ）」に示す制度について、知っていましたか。 答えは選択肢の中から選んでください。（答えはそれぞれ1つ）

提示した6つの助成制度の全てで、8割を超える人が「制度のことを知らなかった」と回答しています。

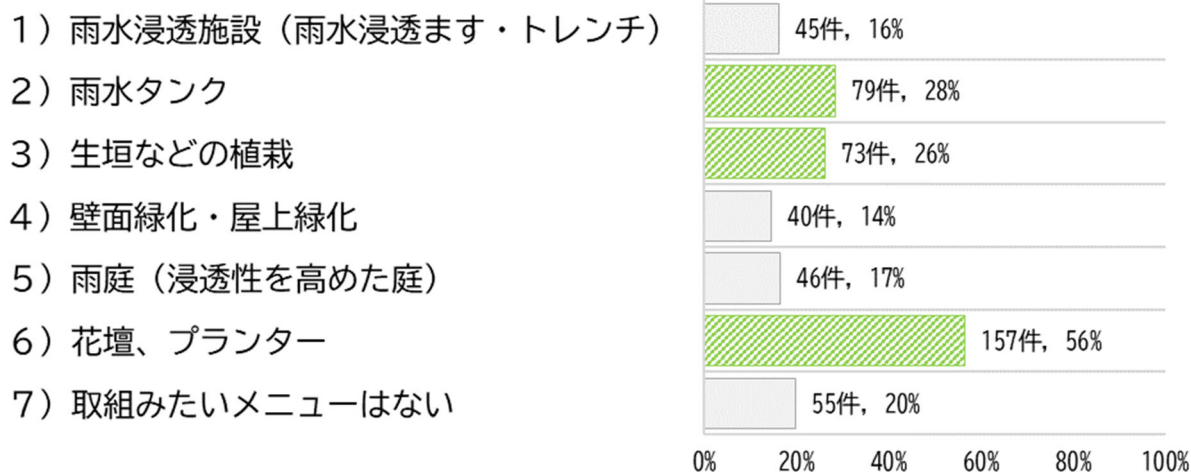


- 1) 制度の内容まで知っている
- 2) 制度があることは知っている
- 3) 制度のことを知らなかった
- 未回答



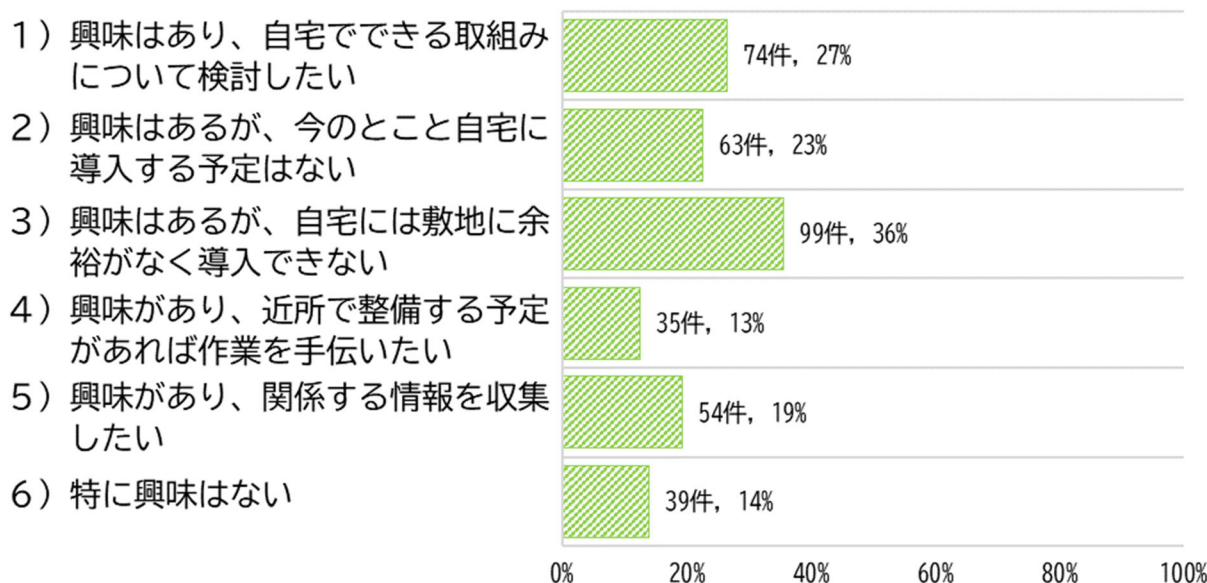
問 5 あなたが、今後ご自身で取組みたい「グリーンインフラ」のメニューはありますか。（いくつでも）

今後、自身で取組みたいグリーンインフラのメニューについて、1位は「花壇、プランター（56%）」、2位は「雨水タンク（28%）」、3位は「生垣などの植栽（26%）」となりました。



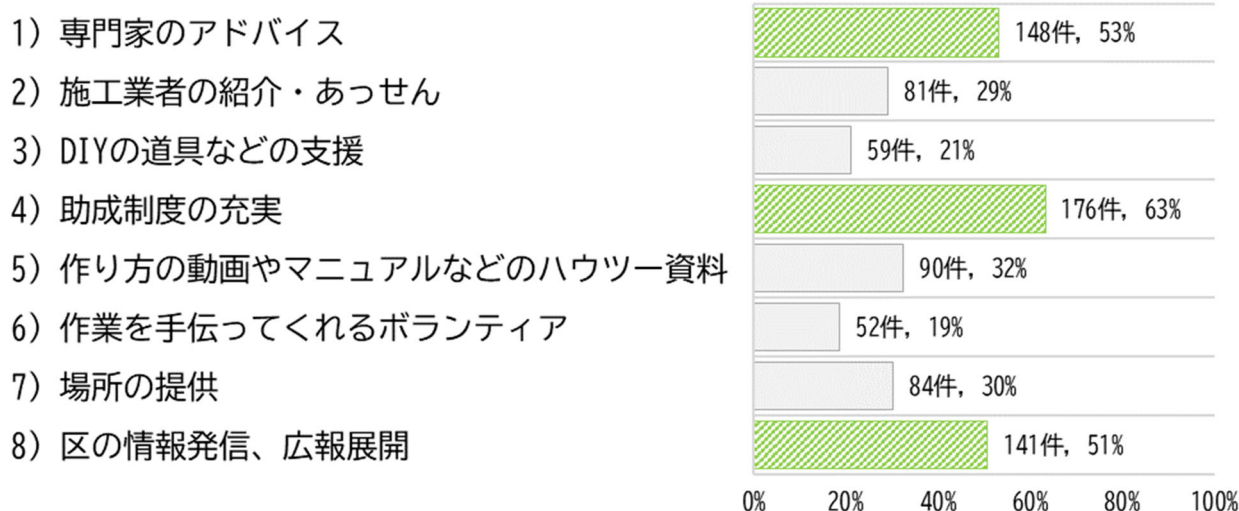
問 6 あなたご自身の「グリーンインフラ」の取組みへの考え方について教えてください。（いくつでも）

自らが実施する立場になった場合の導入可否等について質問したものであり、「興味があり、自宅でする取組みについて検討したい（27%）」、「興味があり、関係する情報を収集したい（19%）」といった前向きな回答も見られますが、最も多かった回答は、「興味はあるが、自宅には敷地に余裕がなく導入できない（36%）」であり、その他にも、「興味はあるが、今のところ自宅に導入する予定はない（23%）」、「特に興味はない（14%）」といった、あまり前向きではない意見も見られます。



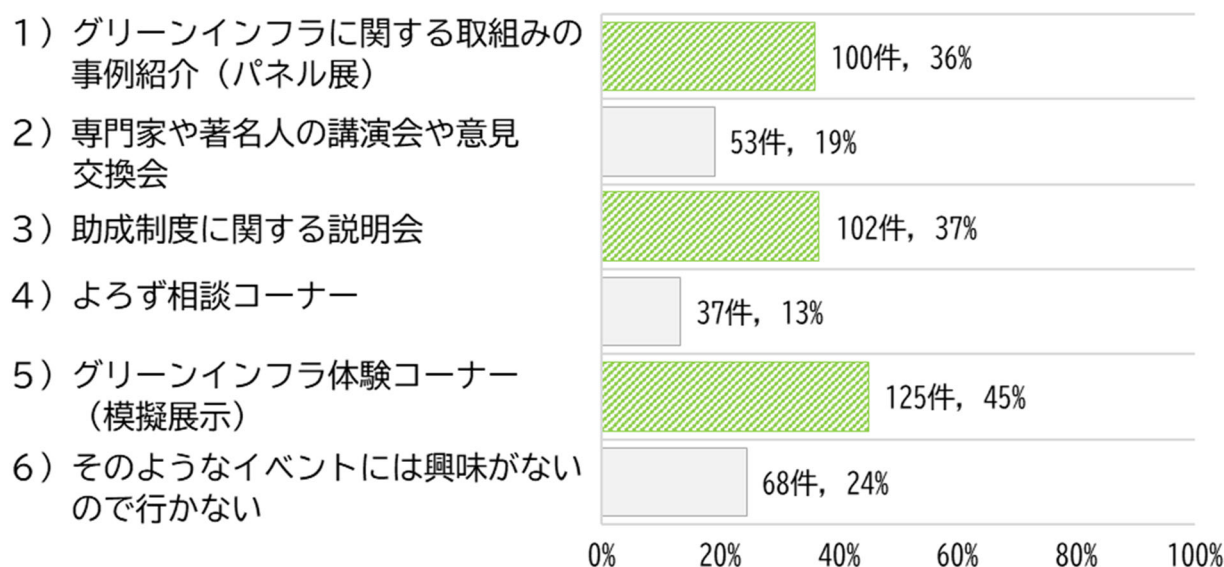
問 7 「グリーンインフラ」のさまざまな取組みを拡げていくために、必要なものは何だと思いませんか。（いくつでも）

回答者が、これがあればグリーンインフラの取組が広がるのではないかと考えているものを質問したもので、1位が「助成制度の充実(63%)」、2位が「専門家のアドバイス(53%)」、3位が「区の情報発信、広報展開(51%)」でした。



問 8 「グリーンインフラ」に関するイベントが今後開催されるとなったとき、どのような内容があったら会場に足を運びますか。（いくつでも）

「グリーンインフラ」に関するイベントで興味がある内容についての質問では、突出した回答は見られず、1位が「グリーンインフラ体験コーナー（模擬展示）(45%)」、2位が「助成制度に関する説明会(37%)」、3位が「グリーンインフラに関する取組みの事例紹介（パネル展）(36%)」でした。



## 問9「グリーンインフラ」に関する意見（自由記述）

グリーンインフラに関する意見（自由記述）について、意見の内容と年代別に整理しました。

表-1(1/7) グリーンインフラに関する意見（自由記述）

内容区分	意見（記載のママ）
意見・感想	<p>○地域に緑が増えることは、とても良いことだと思います。(40歳代)</p> <p>○豪雨災害についてはこれまであまり考えて来なかったので、新たな視点でできることを探してみたいと思います。(40歳代)</p> <p>○今年は体感として夏が半年続いたように思う。兎に角コンクリートジャングルがしんどい。子供やペットが危険。公共施設のインフラ整備は元より、個々の意識改革が必要。余りにも無頓着過ぎる人間が多い。(40歳代)</p> <p>○今は考えられない。(50歳代)</p> <p>○大切な事だとは思いますが、今は他の事で手いっぱいです。(60歳代)</p> <p>○今年他の区より引っ越してまいりましたが、町に緑が多いと思っていました。さらにこのような取り組みがあるのは大変良いことだと思います。これまで知る機会がありませんでしたが興味を持ってアンテナを立てておこうと思います。(50歳代)</p> <p>○この度は「グリーンインフラ」についての広報誌をご送付頂きましてありがとうございます。うっすらと知っておりましたが、制度があることなど詳細を知らなかったので、大変参考になりました。私の家族は植物を好んで植えておりますので、生垣・プランターなどの緑の導入は40年程前から導入しております。自宅を囲むように樹々や草花が豊かに生え揃って四季折々、変化が楽しい庭ですが今年の夏は強烈な日光で地面が干上がってしまい、水撒き作業が大変でした。猛暑に向けての対策を来年から考えて行くことが課題です。今回お知らせ頂いた情報を活かして、対策を試みたいと思います。(50歳代)</p> <p>○グリーンインフラの取り組みを知り、個人の簡単な対策で都市型水害の軽減につながるなら、是非何か取り組んでみたいと思った。(50歳代)</p> <p>○今回初めてグリーンインフラとは何かということが少し分かった気がしました(いいことだと思います)。(60歳代)</p> <p>○世田谷区が、このような取り組みをしていることを知り、興味深く思いました。(60歳代)</p> <p>○結局、整備するにはお金が必要。自治体でやる分には構わないが、個人でやる金銭的な余裕はない。十数年後に現在の自宅を出ていかねばならないので、助成金があっても自宅に投資はできない。このような立場で、このアンケートの回答がどれだけ意味があるか疑問。(60歳代)</p> <p>○個人ですぐに取り組めることとして、「緑化」（植栽、プランター）と「雨水を留める」ことから始めたいと思います。(70歳代)</p> <p>○突然の「グリーンインフラ」アンケート依頼で、何をどう回答して良いかわからない。(70歳代)</p> <p>○雨水タンクは個人でも取り組みやすいと思います。透水性舗装は、暑さ対策や水害対策になるのではと思っています。小さな取り組みで大勢が参加すれば、大きな力になると思います。できることから取り組みたいと思います。(70歳代)</p> <p>○縁のないものと思い、知ろうとしていなかった。(70歳代)</p>

表-1(2/7) グリーンインフラに関する意見（自由記述）

内容区分	意見（記載のママ）
意見・感想	<p>○マンション住まい、庭付き。こんな条件でできるグリーンインフラ、また受けられる助成はあるか。何かできるとあればやりたい。(70歳代)</p> <p>○近くに川があるため、大切だと思います。(70歳代)</p> <p>○整備されたきれいな街になるといいですね。(70歳代)</p> <p>○素晴らしい取り組みだと思います。今まで知らなかったのが残念でした。若い人達に理解してもらうことが、息の長い取り組みになると思います。(70歳代)</p> <p>○2～3年前から、生ごみを出さないように（全部ではありませんが）、庭に戻している。土の中の虫たち、主にミミズを育てるために有効かと思っている。暖房も必要最小限にしている。(70歳代)</p>
取組みに対する要望・提案	<p>○地球温暖化や自然災害などを考えるとグリーンインフラは大事な取り組みのひとつだと思うので、そういった取り組みを積極的に行う区であって欲しいと思います。(30歳代)</p> <p>○ふるさと納税の中で自宅に観葉植物を届ける、自宅緑化を推進する物を取り入れるのも魅力的だなと思いました。(30歳代)</p> <p>○公園や公共施設に自分が選んだ植物を植える事も地域貢献の気持ちに繋がる物があり、あったらやってみたい！と思いました。(30歳代)</p> <p>○空き家問題などをグリーンインフラに活かせればよいと思います。(30歳代)</p> <p>○緑や自然豊かになり、景観的にも魅力的な街になれば移住者が増えたり、住民にとっても住みやすさが増すのではないかと思います。世田谷区は自然や緑に興味ある方が多いのが印象的です。(30歳代)</p> <p>○新しい住宅開発の際に造られた緑地以外にも、昔からある樹々もぜひ残していただきたいです。(40歳代)</p> <p>○新築マンション、戸建てが増えている世田谷区は、建築段階からグリーンインフラに対応した物件を企画してもいいと思う。助成対象物件等とタグ付けをするなど。買い替え検討中であるが、グリーンインフラを謳っている物件をみた事がない。(40歳代)</p> <p>○専門家の知識をマンション管理会社、企業等に周知して欲しい。(40歳代)</p> <p>○公的機関についてはプランター、屋上緑化等管理維持費について負担にならないことを願います。(40歳代)</p> <p>○小、中、高校、大学などの授業やクラブ活動等の一環で助成金を活用してグリーンインフラの取り組みを始めてもらうのはいかがでしょうか？(50歳代)</p> <p>○自宅でできる緑化に関する補助、空き地や都有地、区有地への植栽ボランティアや自主的にやってくれる人へのサポートと地域への理解促進をすべき。(50歳代)</p> <p>○近隣の方々が植物の水やりや打ち水に使用出来るように、小田急線高架下にたくさん設置すると良いと思う。雨天時、雨どいからジャージャー流れてきているのを見ると勿体ないと思う。小田急線や京王線や東急線などと協力して主要駅だけではなく、橋桁ごとなどにおいても良いのでは。(50歳代)</p> <p>○新規で家や共同住宅を建てるときにただ緑化を促すというよりは、雨水タンクや緑化することで地域のこういったことに貢献できるか？子どもたちの郷土愛を発信していただきたいです。雨水利用や緑化はこれからの時代マストだと思います。役所、学校、駅等、人が集まるところからすぐに始めていただき、意識、動機付けを行っていただきたいと思います。(50歳代)</p>

表-1(3/7) グリーンインフラに関する意見（自由記述）

内容区分	意見（記載のママ）
取組みに対する要望・提案	<p>○畑を借りて野菜をつくっています。もっと身近に自分達で野菜をつくれるようなガーデンがあちこちにあつたらいいというのが夢です。(50歳代)</p> <p>○今後の気候変動を考えたとき、豪雨への対策が最優先と考える。全力で豪雨対策に取り組むことを希望します。(60歳代)</p> <p>○自分の暮らしは自分たちで守るという認識を広めてほしい。(60歳代)</p> <p>○防災については、区主導で考える方がよい。(60歳代)</p> <p>○グリーンインフラの内容までは知りませんでした。気候変動等での河川氾濫の対策として、透水性舗装や大規模な地下のため池の構造建築が急務だと思います。(60歳代)</p> <p>○世田谷は生活農家（緑）の土地などのことも一緒に考えなくてはならないと思います。(60歳代)</p> <p>○雨水タンクを付けたいと思っているが、タンクの種類が多く、使いやすさ・耐久性などでなかなか選べず、今に至っています。(60歳代)</p> <p>○個人で導入するには物価高で敷居が高い。公共の施設などでの実施が望ましい。(60歳代)</p> <p>○豪雨に下水道のみで処理できない原因は、私が思うには道路造り（アスファルト舗装）が原因かと。昭和から令和にかけて下水道管の容量と側溝の容量のバランスが悪いと思います。区として検討願います。(60歳代)</p> <p>○税金を投入しての事業には反対。あくまでお金を絡めず企業、個人の責任の範囲で展開してほしい。公園や公共設備の整備や管理に関しても、税金の投入ではなく利用する地域住民のボランティアを募り実施することで、公共への意識付けとなる。何でも税金を投入し、役所の仕事を増やして欲しくない。(60歳代)</p> <p>○個人で実行するにはお金がかかりすぎて現実的ではないように思う。公共施設や企業建屋で今後必須にする方が効果的ではないでしょうか。(60歳代)</p> <p>○難しいとは存じますが、各個人宅に可能な選択肢を提示できるお知らせを頂けるとありがたいです。(60歳代)</p> <p>○公共施設に取り組んでほしい。(70歳代)</p> <p>○家の庭や周りに樹木・花を植えることは、環境悪化を防ぐとともに、家、地域の資産価値を上げることを強調すると良いです。リフォームした住宅、面積の小さい住宅にも木を植えるよう、区の条例を充実させて下さい。(70歳代)</p> <p>○緑を増やして、災害に強く安全な街にしてほしいです。(70歳代)</p> <p>○建て替えのときに整理して考える必要があると思います。業社教育、指導をしっかりして欲しい。(70歳代)</p> <p>○道路、広場の舗装を減らし、地面を復活させる。雨水の吸収と緑の炭酸ガス還元を進める。温暖化の進行を防ぐ。(70歳代)</p>
広報に関するご意見	<p>○私も知らなかったもので、もっと広報活動をした方が良いと思いました。(20歳代)</p> <p>○そもそも知らないことが多すぎて、内容云々の前にこの取組みを周知させることが重要だと思います。(40歳代)</p> <p>○いくら補助金が出ようが知らなかったら活用されないし、この取組みによるメリットをうまく伝えていくのが周知徹底に繋がると思います。(40歳代)</p> <p>○全く世田谷区の制度、取組みを知らなかった。(40歳代)</p>

表-1(4/7) グリーンインフラに関する意見（自由記述）

内容区分	意見（記載のママ）
<p>広報に関するご意見</p>	<p>○世田谷区内の電車各駅にポスターを貼って情報発信などはいかがでしょうか。助成という言葉を目立たせれば電車の待ち時間に見る人はいると思います。既に対応済みでしたらすみません。（40歳代）</p> <p>○公共施設を優先として民間では助成のほか、手間はかかりますが、個人宛の区名義のDMの送付。普段、区のホームページを見る習慣はないが、区からの封書などは目を通すため。（40歳代）</p> <p>○グリーンインフラという言葉や内容、取り組みや助成制度について、まったく知りませんでした。まずは区民に対する広報や周知が必要だと思います。（40歳代）</p> <p>○区営住宅等でまず取り組んで、成果を公表したり、広報をもっとするべき。区からの発信は調べないと出てこないことが多い。それが行政なのだろうけど。（40歳代）</p> <p>○もっと分かりやすく、沢山のの人に知ってもらわなければならないと感じました。（40歳代）</p> <p>○グリーンインフラについて、もっと宣伝した方がいい。（50歳代）</p> <p>○区のHPなどは大変見づらく、目的のページ（確定申告等）を探すことに労力が費やされ、他の情報など収集できる状態にないので、「グリーンインフラ」の情報もわかりやすく。（60歳代）</p> <p>○大切な取り組みだと思います。もっとアピールしてください。（60歳代）</p> <p>○情報発信が少ないように思います。もっと区民の皆さんが気付くところで発信してはどうでしょうか。（60歳代）</p> <p>○初めて言葉を聞いたくらい、何も知りませんでした。イベントや広報誌、掲示板等でまず言葉を広めて欲しい。興味はそこから湧いてくると思います。（60歳代）</p> <p>○一部の人は知っていると思うが、区民に浸透していない。広報に力を入れた方がいいかと思う。（60歳代）</p> <p>○区報などは読んでいますが、もう少しインパクトのある情報発信をして欲しい。よく見ないとわからないものが多い。（70歳代）</p> <p>○グリーンインフラの有用性について、区報等で時々PRすべきである。（70歳代）</p>
<p>助成制度に関するご意見（広報と被る内容を含みません）</p>	<p>○助成制度などについては、知らないことばかりでした。（40歳代）</p> <p>○助成制度はしらなかったの、このことがわかればもっと興味を持つ人も増えるのではと思います。（40歳代）</p> <p>○助成がこんなにあるとは知らなかった。（40歳代）</p> <p>○助成制度の周知、実例の紹介等、まだ足りていないと感じます。（40歳代）</p> <p>○様々な助成金があることに 대해서는 知らなかった。取り組みを始めるきっかけになるように助成金の周知方法を検討してもよいのではと思った。（50歳代）</p> <p>○個人レベルでの取り組みも必要だと思います。雨水タンクを無償で提供・設置、さらに協力金の配布もあれば、協力者は増えるのではないのでしょうか。（50歳代）</p> <p>○助成内容のなかで、改修規模や見積後の申請などハードルが高く感じる。要件などについても分かりづらいつと感じる（チャレンジしようと思った時の相談）（60歳代）</p>

表-1(5/7) グリーンインフラに関する意見（自由記述）

内容区分	意見（記載のママ）
助成制度に関するご意見（広報と被る内容を含みます）	<p>○マンション敷地は緑化されており高木も多くあります。雨水タンク、雨水浸透ます等に興味はありますが、現在でも植栽の管理に費用がかかり、管理費・修繕積立金を増額しているのが現状です。助成制度が充実していれば管理組合で議論できるかもしれません。（60歳代）</p> <p>○個人でできることなどの、区の情報発信と助成制度の周知。（70歳代）</p> <p>○20年前に、建て替えに際しブロックの塀を助成していただいて生垣にしました。年月が過ぎ、木が老いて、業者さんに植え替えの時期と言われ、自分も体力が無理になってきて、手入れがおっくうになってきました。再度の助成はあるのでしょうか。目隠しの資材(?)にしようかとも思います。（70歳代）</p>
学習機会に関するご意見	<p>○我が家は家にあるもので簡易的に作り一時雨水タンクを置いてありました。やり方はたくさんあるのでそれを知る機会が増えるといいと思います。（40歳代）</p> <p>○グリーンインフラに取り組んだ完成予想画をインターネット等で配信する。または、取り組んだ町の見学の実施。（60歳代）</p> <p>○グリーンインフラを実際に実施した事例の繰り返しの紹介。（70歳代）</p> <p>○子供から高齢者まで対象の、植物観察の機会を作ってください。NHKの「道くさ散歩」良いです。（70歳代）</p>
機能評価等に関するご意見	<p>○とても良い取り組みだと思いました。私自身興味がとてもあり、この機会に知ることが出来て良かったです。地球沸騰化などnewsでも放送されて、小さな事でも何かをしないと！と思っている方は多いと思います。しっかりと可視化をしていただく事でより多くの方に知ってもらい、賛同が得られると思います。（30歳代）</p> <p>○土地の高低差、水はけの良し悪し、条件差があるため一概には判断できない。（60歳代）</p> <p>○「グリーンインフラ」を推進しなかった場合のリスク等具体的（できたら定量的）な説明が欲しい。（70歳代）</p>
住宅事情を踏まえたご意見	<p>○とても興味がありますが、賃貸の集合住宅のため、出来ることが限られているのが残念です。まずはバルコニーにプランターで花壇を作るところから始めたいと思います。（40歳代）</p> <p>○敷地や場所の確保が最初の課題かと思います。（40歳代）</p> <p>○申し訳ないですが、集合住宅なので、集合住宅内のルールの中でご提案頂いたもののグリーンインフラメニューが自宅で取り組めるものかわからない。プランターなどは気軽に取り組めるそうではあるが、土を処分する際にどこに持っていけばよいか、どのように処分できるかわからない。（50歳代）</p> <p>○集合住宅に住んでいるので、なかなかこういう取り組みは制限が多くアクションに繋がりません。集合住宅でも取り組めるアイデアやサポートがあるといいなと思います。（50歳代）</p> <p>○自宅が集合住宅のため個人の取り組みが難しいところではあるが、その場合に行えることを紹介するとよいと思います。（50歳代）</p> <p>○我が家はマンションの1階住戸で小さな庭がありプランターなどでガーデニングを楽しんでいます。しかし庭はマンションの共有部分の個人使用なので雨水タンクなどは管理組合の許可が必要になり設置は難しいです。マンションの庭でも出来る事があれば良いのにと。（50歳代）</p> <p>○小さな敷地に生垣と植栽、プランターに季節の花、これ以上は個人ではできない。公共の敷地の実施が望ましい。（60歳代）</p>

表-1(6/7) グリーンインフラに関する意見（自由記述）

内容区分	意見（記載のママ）
住宅事情を踏まえたご意見	<p>○興味、関心はあるが賃貸住宅ではどんなことができるのか？具体的な提案を聞いてみたい。(60歳代)</p> <p>○集合住宅住まいなので、敷地もないし、管理会社の意向によらないと何もできないと思う。(60歳代)</p> <p>○限られたマンション住まいの私には難しい。提案①これから建てる住宅（集合も一戸建てでも）には〇%取り入れましょう＝グリーン植栽決める。提案②新築の住宅には雨水マス（小さいものでも）を取り入れるシステム作りをして欲しいと思う。(70歳代)</p> <p>○古いマンションなので対応ができないと思う。この場合どうすれば良いのでしょうか？(70歳代)</p> <p>○老人でマンション住まいでは、活発に活動できません。(70歳代)</p> <p>○マンション居住者には答えられない質問があり、難しい（問5）(70歳代)</p> <p>○住宅等に敷地的に余裕があれば良いことなので、ぜひ実行すべきだと思います(70歳代)。</p>
維持管理に関するご意見	<p>○かつて助成金制度を利用して自宅に生け垣を作りましたが、一番の苦労は植栽の管理、定期的な剪定とその費用です。費用面について言えば一回限りの助成ではなく、定期的な助成制度の設計が必要かと思います。また今後高齢化や空き家の増加を見越して、管理運営をどこまで公的資金で賄えるのか？あるいは剪定など作業についてはボランティアの組成や地域毎の小規模エリアでのサポート体制のザグミ作り、小中学校、高校、大学などとの連携、特に区内でいえば園芸高校や東京農大との連携などを考えるべきかと思料します。(50歳代)</p> <p>○賃貸マンションオーナーです。数十年たった木が大きくなり、根の力によって建物通路、道路沿いの壁に損傷が見られます。また植栽の木は、虫が湧いたり、剪定、落葉の掃除等管理費用を考えると、ただの壁にしてしまいたくなります。維持していく助成や、方法、長期維持にむいたお勧めの樹種等、区から発信して頂きたいです。(50歳代)</p> <p>○個人での導入の場合、メンテナンス費用、労力がかかる。(60歳代)</p> <p>○設置や作ることも大事と思いますが、その後の管理方法や欠損補修などへの取り組みの重視。(60歳代)</p> <p>○公園などの花壇に季節ごとの花を植えてくれているが、その後の水やりなどがなされてなく、枯れるのを見るのはつらいです。あらゆる意味で「育む」を区民に伝えることができたら良いと思います。例えばボランティアなど。(60歳代)</p> <p>○現在、庭があり植木などもあるのですが、年齢がいくにつれ手入れができず、老人用の業者あっせんなどがしやすいと思います。(70歳代)</p>
地域に関するご意見	<p>○三軒茶屋駅周辺はまだグリーンインフラの整備が足りないように思います。(40歳代)</p> <p>○最寄り駅の祖師ヶ谷大蔵駅では駅前広場に雨水貯留浸透型舗装ブロックの利用が実施されていますが、50x20mほどの敷地に全く樹木がなく、環境的にも景観的にも残念に思っています。(50歳代)</p> <p>○烏山北住宅は建て替えに入っているので、まさにグリーンインフラに世田谷区が力を尽くしてほしいとお願いします。(70歳代)</p>
懸念事項	<p>○基本的には良い活動だと思いますが、居住地への植栽については、虫が増える気がするため、積極的には支持できかねます。(20歳代)</p>

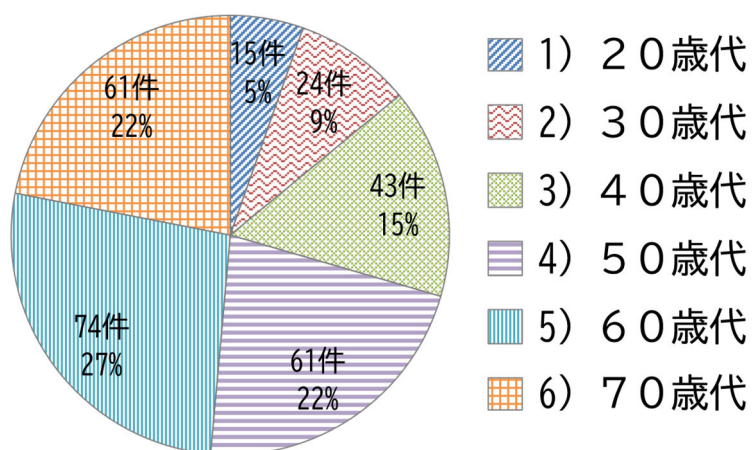


表-1(7/7) グリーンインフラに関する意見（自由記述）

内容区分	意見（記載のまま）
懸念事項	○グリーンインフラの活動は素晴らしいので、どんどん進めて欲しいが、庭木やプランターが道路にはみ出していたり、道路をふさいでいたりすることにも対処して欲しい。（60歳代）

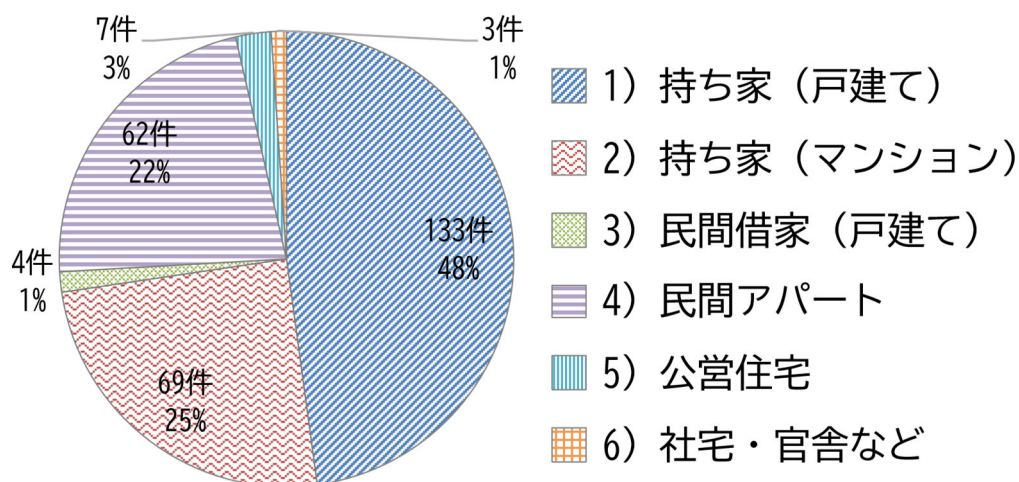
問 A. あなたの年齢について、あてはまるものを選んでください。（答えは1つ）

回答者が最も多い年齢層は 60 歳代であり、全体としては、高齢の人ほど回答率が高く、若い人ほど回答率は低い傾向にありました。



問B. あなたのお住まいについて、あてはまるものを選んでください。（答えは1つ）

回答者の居住形態について、1位が「持ち家（戸建て）（48%）」、2位が「持ち家（マンション）（25%）」、3位が「民間アパート（22%）」であり、持ち家（戸建て・マンション）の人の割合は73%にのぼっています。



問C. あなたは、区からの情報を次の何で知りますか。（いくつでも）

区からの情報の入手手段を見ると、「区報」や「パンフレット、チラシ」といった媒体を選択する人が多くみられました。一方で、インターネットに接続することを前提とする「区のホームページ」、「SNS」、「区公式YouTube」を選択する人は比較的少なく、特に「区公式YouTube」については1件でした。

